

株 式 取 扱 規 程

(2022年9月1日変更)

ライオン株式会社

ライオン株式会社 株式取扱規程

第1章 総 則

(目的)

第 1 条 当会社の株式に関する取扱およびその手数料、株主の権利行使に際しての
手続等については、定款にもとづき、本規程の定めるところによるほか、振替機関であ
る株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）ならびに口座管理機関である証
券会社および信託銀行等（以下「証券会社等」という。）の定めるところによる。

② 当会社および当会社が指定した信託銀行との間で締結した契約にもとづき開設され
た特別口座の取扱いおよび手数料、株主の権利行使に際しての手続等は、本規程の定め
るところによるほか、当該信託銀行の定めるところによる。

(株主名簿管理人)

第 2 条 当会社の株主名簿管理人および同事務取扱場所は、次のとおりとする。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

(請求または届出の方式)

第 3 条 本規程による請求または届出は、当会社の定める書式によるものとする。

ただし、当該請求または届出が証券会社等および機構を経由して行われる場合ならびに
第22条第1項に定める場合は、この限りでない。

② 前項の請求または届出を、代理人によって行うときは、代理権を証明する書面を、
保佐人または補助人の同意を要するときは同意を証明する書面を、提出しなければなら
ない。

③ 当会社は、第1項の請求または届出が証券会社等および機構もしくは証券会社等を
経由して行われた場合には、当該請求または届出が株主からなされたものとみなして取
扱することができるものとする。

④ 当会社は、第1項の請求または届出をした者に対し、その者が株主または代理人で
あることを証明する資料の提出を求めることができるものとする。

⑤ 当会社は、前項に定める資料の提出を求めた場合、その提出がない限り、第1項の
請求または届出を受理しない。

第2章 株主名簿への記載または記録等

(株主名簿への記載または記録)

第 4 条 当会社は、機構より受領する総株主通知にもとづき株主名簿への記載また
は記録を行う。

② 当会社は、株主名簿に記載または記録される者（以下「株主等」という。）の住所
の変更の通知その他株主名簿記載事項の変更に関する通知を受領した場合には当該通知
にもとづき株主名簿への記載または記録を変更する。

③ 前2項のほか、新株の発行その他法令に定める場合は、株主名簿への記載または記
録を行う。

(株主名簿に使用する文字等)

第 5 条 当社の株主名簿は、機構が指定する文字、記号により記載または記録するものとする。

第 3 章 諸 届

(株主等の住所および氏名または名称の届出)

第 6 条 株主等は、住所および氏名または名称を当社に届出なければならない。

② 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届出なければならない。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

(外国居住株主等の届出)

第 7 条 外国に居住する株主等は、日本国内に常任代理人を選任するかまたは通知を受けるべき場所を定めてこれを届出なければならない。

② 常任代理人は、前条第 1 項の株主等に含まれるものとする。

③ 第 1 項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届出なければならない。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

(法人の代表者)

第 8 条 株主等が法人であるときは、代表者 1 名の役職名および氏名を届出なければならない。

② 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届出なければならない。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

(共有株式の代表者)

第 9 条 株式を共有する株主は、その代表者 1 名を定めてその住所および氏名または名称を届出なければならない。

② 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届出なければならない。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

(法定代理人)

第 10 条 親権者または後見人等の法定代理人があるときは、法定代理人の住所および氏名または名称を届出なければならない。

② 前項の届出、変更または解除は、証券会社等および機構を経由して届出なければならない。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

(その他の届出)

第 11 条 第 6 条から前条までに規定する届出のほか、当社に届出をする場合には、当社が特段の方法を指定しない限り、証券会社等および機構もしくは証券会社等を経由して届出のものとする。ただし、第 4 条第 3 項に定める場合はこの限りでない。

② 証券会社等で受理または取り次ぐことができない届出は、株主名簿管理人に対して届出のものとする。

第 4 章 単元未満株式の買取

(買取請求の方法)

第 12 条 単元未満株式の買取を請求するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を経由して行うものとする。

(買取価格の決定)

第 13 条 単元未満株式の買取単価は、前条の請求が、第 2 条に規定する株主名簿管理人の事務取扱場所に到達した日の株式会社東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引が成立しなかったときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

② 前項による買取単価に、買取請求株式数を乗じた額をもって買取価格とする。

(買取代金の支払)

第 14 条 当社は、当社が別途定めた場合を除き、買取価格が決定した日の翌日から起算して 4 営業日目に買取請求者に買取代金を支払う。

② 前項の場合、買取価格が剰余金の配当、株式の分割等の権利付価格であるときは、基準日まで支払う。

(買取株式の移転)

第 15 条 買取請求を受けた単元未満株式は、前条による買取代金の支払いまたは支払手続を完了した日に当社の口座に振り替えられるものとする。

第 5 章 単元未満株式の買増

(買増請求の方法)

第 16 条 単元未満株式の買増を請求するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を経由して行うものとする。

(買増請求の制限)

第 17 条 同一日になされた買増請求の合計株式数が、買増請求のために保有する自己株式数を超えるときは、買増請求の効力は生じないものとする。

(買増請求の受付停止期間)

第 18 条 当社は、次の各号に定める日から起算して 10 営業日前の日から当該各号に定める日までの間、買増請求の受付を停止する。

(1) 6 月 30 日

(2) 12 月 31 日

(3) その他の株主確定日

② 前項にかかわらず、当社または機構が必要と認めるときは買増請求の受付を停止することができる。

(買増価格の決定)

第 19 条 単元未満株式の買増単価は、第 16 条の請求が、第 2 条に定める株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の株式会社東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引が成立しなかったときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

② 前項による買増単価に、買増請求株式数を乗じた額をもって買増価格とする。

(買増株式の移転の時期)

第 20 条 買増請求を受けた単元未満株式は、買増代金が当社所定の銀行預金口座に振り込まれたことを確認した日に買増請求者の口座に対する振替の申請を行うものとする。

第6章 株主権の行使方法

(書面交付請求および異議申述)

第 21 条 会社法第325条の5第1項に規定された株主総会参考書類等の電子提供措置事項を記載した書面の交付の請求（以下「書面交付請求」という。）および同条第5項に規定された異議の申述をするときは、書面により行うものとする。ただし、書面交付請求を証券会社等および機構を通じてする場合は、証券会社等および機構が定めるところによるものとする。

(少数株主権等の行使方法)

第 22 条 社債、株式等の振替に関する法律（以下「振替法」という。）第147条第4項に定める少数株主権等を当会社に対して直接行使するときは、個別株主通知（振替法第154条第3項に定める通知をいう。）の申出をしたうえ、記名押印した書面により行うものとする。ただし、外国人は署名をもって記名押印に代えることができる。

② 前項の少数株主権等の行使については、第3条第2項、第4項および第5項を適用するものとする。

(株主提案議案の株主総会参考書類)

第 23 条 前条第1項に定めるところにより株主提案権が行使された場合、提出議案につき、以下に記載の字数を超えるときは、株主総会参考書類にその概要を記載することができるものとする。

(1) 提案の理由

各議案ごとに400字

(2) 提案する議案が役員選任議案の場合における株主総会参考書類に記載すべき事項

各候補者ごとに400字

第7章 手数料

(手数料)

第 24 条 当会社の株式の取扱いに関する手数料は、無料とする。

② 株主等が証券会社等または機構に対して支払う手数料は、株主等の負担とする。